

ふくろいスマイル座談会 ②袋井東地区

【開催概要】 総合計画及び都市計画マスタープラン策定のために、地域の未来について、大場市長と住民との意見交換を行う「ふくろいスマイル座談会 袋井東地区」を以下の通り開催しました。

日時	令和6年9月14日(土)13時30分～15時15分
場所	袋井東コミュニティセンター【参加人数:59人】
内容	1 開会 2 まちづくり協議会/会長あいさつ 3 市長あいさつ 4 報告事項 (1)袋井市総合計画策定の進め方について (2)袋井市都市計画マスタープランの見直しについて (3)地区まちづくり協議会における「活動方針」の策定について (4)質疑応答 5 意見交換「袋井の未来のコト」や「地域の将来のコト」など 6 閉会



「ご意見・ご提案」用紙から

- 自治会組織が弱体化している。行政との協働を市内全域に広げるべき。
- 平時からのコミュニケーションが災害時にも有用。防災と福祉の仕組みづくりに行政も参加を。
- 大和ハウス跡地を公園や道の駅に。
- 坂尻遺跡の発掘継続を考慮してほしい。
- 愛野駅・エコパ周辺で多くの人が集える場があるとよい。
- まちづくり人材の育成を進めてほしい。
- 計画のPDCAの見える化を強化すべき。
- 地区の歴史や伝承文化のPRを強化すべき。

●当日の意見交換の主な内容（※現総合計画の「政策」分野ごとに整理しました）

快適で魅力あるまち

- 大和ハウス跡地は広大な土地なので、トラックターミナルとか道の駅とかまとめていただきたい。
- 大和ハウス跡地を商業施設にするなど、地域の人口確保と利便性の維持を図る計画も進めてほしい。
⇒大和ハウス跡地は民地であり民間の考えが最優先される。しかし、行政として、地域の代弁者として、対話を進め、活力創出の方向になるように関わっていく。
- 袋井東地区では、地区としての構想をまとめ地域の開発を提言している。
⇒地域の生き残り策を考慮して地域をどうするかを検討させて欲しい。
- 夏の暑さ対策として、市が率先して市の駐車場をアスファルトから芝にしようか。
⇒雑草の問題などもあり、現実的には難しい。暑さ対策として、郵便局などと連携してクーリングシエルの協定を結んでいるので活用いただきたい。

安全・安心に暮らせるまち

- 公会堂を指定避難所として活用できないか。自宅から近い場所にあり、今の避難所が災害状況により受け入れが難しい場合に有効だと思う。
⇒公会堂を指定避難所にするとう避難所数が膨大になる。指定避難所は最低限の食糧や安全な場所を維持するところであり、また、他の避難所に物資を届けるといった意味があるので、多くを指定できないことをご理解いただきたい。
自宅避難の方や他の避難所などにも支援の手が届くような形にできればと思うのでご協力をお願いしたい。
- 災害時の初動活動は安否確認となる。市では、居住人口の実態、実数を把握しているのか。
⇒行政でも把握したいが、発災時、どこに誰が何人いるかまでは分からない。携帯の電波の有無がわかる技術があるので、その活用を模索しているところである。

市民がいきいきと活躍するまち

- 大和ハウスが移転するが、文化財や参道は保存をしてもらいたい。
⇒貴重なお宮の参道があるのは承知している。鳥居も含めて保存するよう要望として挙げている。
- 袋井東地区は立地条件はよいが、人口減少率が高い。集落拠点の具体的な構想、取り組み方針が弱いと感じる。最低限の人口確保と利便性の維持を図る必要がある。
- 袋井東地区は人口が減少しているが、他の地区との違いを教えてください。
⇒土地区画整理事業を行った地区で人口が増加している。袋井東地区では、ミニ開発はあるが区画整理は行っていないため、他地区と人口増減に差がでている。人口は増えればいいというものでもなく、都市機能と一緒に議論していく必要があるので、地域づくりにご協力をいただきたい。